

広報

ただみ

7
2018 月号
No. 572
平成30年1月10日



今月の表紙

今月の表紙は、12月16日「さんさんキッズプロジェクト・第2回運動あそび講座」で、楽しく新聞紙を使って運動あそびをする親子です。

新聞紙をマントのように羽織り、ヒーローになった気分で新聞紙をパンチ!お母さんが持つ新聞紙をビリビリと破いて遊んでいました。

(関連記事:P10)

《特集》

- 新年のごあいさつ 2~3
- 「只見おもしろ学」推進町民大会 4~5
- 第46回只見ふるさとの雪まつり 6~7

《News&flash》

- 齋藤教育長退任式 ほか 8~11

《町の話題》

- 朝日クリスマス会 ほか 12~13





只見町長
菅家 三雄

住民と行政が協働する 町づくりを目指して

明けましておめでとうございます。平成三十年の初春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。町民の皆さまにおかれましては、つつがなく輝かしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。また、日頃町政にお寄せいただいておりますご支援ご協力に対し心から感謝申し上げます。

さて、平成三十年を迎え、本町の最重要課題である人口減少に歯止めをかけるべく、本年も第七次只見町振興計画の「ブナと生きるまち、雪と暮らすまち、心豊かに生きるまち」を理念とし、六つの基本政策を柱に取り組みます。

第一は、「住民と行政が協働する町づくり」です。町づくりには、住民各位の積極的な参画が必要不可欠であります。人口減少などにより地域の活力が低下する中、行政サービスの見直し、町民参加による地域の活性化が重要だと考えます。引き続き、町民の皆さまの自発性・主体性を尊重しながら、地域のコミュニティづくりの支援に取り組んでまいります。

第二は、「自然や環境と共生する町づくり」の推進であります。本町は、世界に誇れる雄大なブナ林など、四季を通じて変化に富む豊かな自然環境を有し、国際的にも高く評価され、平成二十六年に東北以北で

初めてユネスコエコパークに登録されました。世界に誇れるこの美しい自然環境を未来の世代にしっかりと引き継いでいくことができるよう、引き続きユネスコエコパークの取り組みを深化させ、地域の活性化にも繋げてまいります。

第三は、「農業、林業、商工業を大切にす町づくり」であります。人口減少が進む中で耕作放棄による農地の荒廃が危惧されております。そのため、農地所有適格法人など、担い手の育成に努めるとともに、稲作、夏秋トマト、花卉などの振興、生産基盤を維持する事業や地産地消を推進してまいります。また、ＵＩターンの就労支援や誘致企業支援など、町内経済の活性化に努めるとともに、国道二八九号八里越え開通を視野に入れ、道の駅整備を進めるなど地域の魅力向上に取り組んでまいります。

第四は、「医療、福祉、保健が一体となった町づくり」の推進であります。高齢者の皆さまが、いつまでも健康で過ごされ、町づくりに参加をいただくことが重要と考えます。そのため、引き続き、診療所医師の確保に努めるとともに、いきいきサロンや除雪支援保険事業など、健康で生きがいのある高齢者対策を推進してまいります。また、町内及び周辺地域への交通体系を再検討し、生活交通手

段の確保に努めてまいります。更に、昨年十月に開設した「子育て世代包括支援センター」により、妊娠・出産・子育てまで切れ目なくサポートしてまいります。

第五は、「教育、文化を大切にする町づくり」であります。少子化が進む中、将来の只見町を担う児童、生徒の教育は重要課題であります。そのため、「只見学」を中核として、地域を持続させていく教育、保育所から高校まで連携した学力向上対策など教育環境の充実に努めてまいります。また、県立高等学校改革基本計画の素案が公表となり、今後具体的な方針が示されますが、本町では引き続き地域課題として捉え、只見高校存続に向けて、今後も振興対策に取り組む考えであります。

第六は、「公共施設の整備計画」であります。役場庁舎につきましては、防災機能、窓口業務を置く駅前庁舎（仮称）とその他の業務を置く町下庁舎（仮称）に暫定移転することでの安全性を確保します。また、民具収蔵施設の整備、青少年旅行村・いこいの森を中心としたアウトドア拠点の整備を図ってまいります。

結びに、本年が皆さまにとりまして、素晴らしい一年となりますよう心よりお祈り申し上げます、年頭のご挨拶といたします。

創生の新しい芽を育てる 開かれた議会



只見町議会議長
齋藤 邦夫

明けましておめでとうございませぬ。只見町議会を代表して、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。皆さまにおかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

さて、昨年はトランプ政権発足とTPPからの離脱、北朝鮮の核開発とミサイル発射に始まり、韓国朴大統領の逮捕、更にはシリアの空爆、相次ぐ無差別テロ、日本海の漁船漂流など、不安と緊迫感の漂う一年でした。

国内においては、天皇陛下の生前退位が来年に決まり、国政は安倍政権下で衆議院が解散され、憲法改正、消費税と教育の無償化、森友、加計学園問題など、与野党間で争点は定まらず、民主党の分裂と新党乱立の中、自民党が過半数を占め安倍政権の継続が決まりました。

町内では、昨年の七月に観測史上記録的な集中豪雨により、河川や農地・農業施設に大きな被害を及ぼし、町民皆さまの献身的なご協力を頂き、復旧が進められました。

さて、町の明るい話題としては、国・県を始め全国から多くの皆さまにご支援を頂き、町民待望のJR只見線の復旧が決定し、二〇二二年を目標に復旧工事が行われます。また、国道二八九号は、日本海と太平洋（及び北関東地方）を結ぶ、産業

経済の大動脈として、本町の発展に大きなインパクトを与えると共に、五年後予定される開通に期待が膨らみます。

基幹産業である農業は、災害や天候不順により、水稲、トマトなど主要作物の作柄は不良で減収となり、また、期待される観光の動向は、只見線の不通や原発事故の風評被害が払拭できず観光客の入込に伸び悩みを見せました。

主な公共施設整備は、高齢社会に対応したグループホームの整備、地域づくりの拠点として只見振興センター開館、奥会津学習センター増築、定住促進住宅の建設、地方創生の一環として観光スポーツ交流施設が整備されました。平成二十三年の豪雨災害以降、二度にわたる大きな災害により行政の停滞を余儀なくされましたが、危険庁舎の暫定移転、明和振興センターの耐震補強など、住民の安全と行政の効率化を図るため、速やかな対応が求められます。公共事業は、災害復旧工事も収束に向かい減少しておりますが、議会は将来に向けて公共投資や政策的補助など、実効性のある施策の選択に一層の努力をしております。

さて、国は、地方創生を最重要課題として法整備を行い、意欲的に取り組む自治体に対し財政支援を行なってきました。本町は第七次只見

町振興計画に基づき対策を講じておりますが、人口減少は一段と加速化し、教育環境を始め、医療福祉対策や集落コミュニティなど、町民生活に深刻な影響を及ぼしております。この厳しい現実を踏まえて、行政に停滞は許されませんので、只見線の復旧と国道二八九号の開通を契機に、町創生のラスト・チャンスと捉え、決意を新たに取組んで参ります。今年、戊辰百五十年の記念すべき節目の年です。町民皆さまと共に、国際的に評価されたユネスコエコパークの町として、誇りと自信を持ち、既成觀念に囚われない発想と知恵を絞り、「創生の種を播き芽を育てる施策」を進めたいものです。

議会は二元代表制の下、町民の皆さまに代わる意思決定の役割を担いますので、町民の意見を反映する開かれた議会をめざして、町長などの提案する施策や予算を慎重に審議・決定するとともに、仕事の執行状況を監視し、効果の検証に努めてまいります。また、町当局と共に切磋琢磨して、只見町発展のため全力を尽くしてまいりますので、町民皆さまの二層のご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆さまにとりまして実りある飛躍の年となりますことを祈念し、新年の挨拶といたします。

「楽しさ」、「発見」、「誇り」で地域を創造する！

「只見おもしろ学」推進町民大会



▲第2部のパネルディスカッションでコーディネーターを務める齋藤修一教育長(左)とその右隣からパネリストの山科麻伊(地域おこし協力隊)さん、渡部早苗明和小学校長、藤沼航平(地域おこし協力隊)さん、宇都宮大学(D-friends)の大島悠史さん

只見町では、子どもから大人までが地域に学び、地域の価値を再発見し、まちづくりを担う人材を育てることを目的に「只見学」を推進しています。この「只見学」は、平成22年から只見学懇談会や只見学専門分野部会を教育委員会に設置し、平成25年に「只見おもしろ学ガイドブック」を刊行しました。今回、この「只見おもしろ学ガイドブック」の改訂版が新しく発行されたことを機に「只見学」をさらに推進していくため、「只見おもしろ学」推進町民大会」を11月25日に季の郷湯ら里で開催しました。町民など約120名が参加した同大会について本号で詳しくご紹介します。

―「只見おもしろ学」

推進町民大会―
この大会は、只見を知り、誇りに思い、語れる町にしておくことを目的に教育委員会が開催したものです。

開会にあたり菅家町長が「町では地域学を推進することで地域を担う人材を育成していきます。この大会を機に、町の素晴らしさを再確認し、全国に発信していきたい」と挨拶しました。

また、会場では「人材育成ダイヤモンドプラン事業」の説

明や、その第4期生が作成した「只見の自慢カルタ」の展示のほか、町内の自然・歴史・産業について現地で学ぶ「只見おもしろ学講座」や「只見おもしろ学検定」について紹介するコーナーが設けられました。

―第一部 基調講演

久野氏が伝える只見の魅力―
大会の第1部として、東洋大学非常勤講師の久野俊彦氏による基調講演が行われました。テーマは「文化遺産・自然遺産の郷、只見の魅力」と



▲「只見おもしろ学」推進宣言を行う
菅家町長



▲第1部で基調講演を行った久野俊彦氏



▲今回発行された「只見おもしろ学ガイドブック改訂版」。ユネスコスクールに登録された町内の小中学校や只見学検定など幅広く活用されています



▲会場に並んだ人材育成第4期生の「只見の自慢カルタ」



大会の第2部では、「ここが好き、只見の魅力」をテーマにしたパネルディスカッションが行われ、齋藤修一教育長をコーディネーターに、只見町に関わる4名の方がパネリストとして、その魅力を語りました。地域おこし協力隊の山科麻伊さんは「只見の人々は豪雪を当たり前のことと受け入れている」とし、その存在を認めることで「自然と共生」する町民の姿が魅力と伝えました。

第2部 シンポジウム

ここが好き、只見の魅力

題したもので、地域学を活用した只見町のまちづくりについて話されました。只見町の施策は、都市追従型ではなく、自然・伝統を活かした地域振興であるとし、その中で、経済性や利便性などを追求しながら地域の魅力を発見・肯定することで、自然・伝統文化を守り保存していく持続可能な政策が行われていると説明されました。その根底にあるのが、地域学（只見学）であり、地域学の推進が地域の価値を高めると述べられました。

大会宣言

第3部では、菅家町長による「只見おもしろ学」推進宣言が行われ、「より良いふるさとを創造するために、みんなで学んでいきます」と宣言しました。

「布沢地域と交流しながら地域おこし活動を行っている」とし、地域と繋がる魅力を語りました。最後に齋藤教育長が「地方創生は『只見学』の学びから。地方創生は自らの力で、日本の先進地を目指しましょう」と話しました。

明和小学校の渡部早苗校長は「ESD教育で只見を担う人材の育成に取り組んでいる」とし、「只見学」によりふるさとを大切に、「只見愛」を育むために、伝統芸能の継承に力を入れていくと話されました。地域おこし協力隊の藤沼航平さんは「集落のありのままを見たいという人が多い」とし、町を訪れた人が只見おもしろ学ガイドブックを手に集落を散策するプランを提言しました。宇都宮大学地域活性化サークルD・フレンズの大島悠史さんは「布沢地域と交流しながら地域おこし活動を行っている」とし、

戊辰150周年をテーマに！

第46回只見ふるさとの雪まつり開催

開催日／平成30年2月10日(土)～11日(日)

時間 午前10時～午後8時30分

前夜祭／2月9日(金)

時間 午後7時～午後8時30分

問合せ先：只見ふるさとの雪まつり実行委員会
(事務局／観光商工課内)
電話／0241-82-5240
HP／<http://tadamisnowfes.com/>

—今回は戊辰150周年をテーマに開催します—
町をあげて開催される「只見ふるさとの雪まつり」は、県内外から2万人を超える観光客が毎年訪れる冬の一大イベントです。圧巻の大雪像や冬の夜空を彩る祈願花火大会、地元郷土料理が並ぶゆきんこ市などが、訪れた人々を魅了します。

第46回目となる雪まつりは、今年迎える「戊辰150周年」をテーマに開催されます。大雪像には、会津の戊辰の象徴である「鶴ヶ城」が制作され、ステージでは新潟県長岡市の前田劍豪会の皆さんによる長岡藩家老「河井継之助」の剣舞などが披露されます。また、町民の語りべによる只見戊辰歴史講座なども企画されています。

このように、今回の雪まつりは戊辰の歴史を感じることが出来るほか、多彩なステージイベントなどにより、雪まつりを楽しむことができます。

▲写真／第45回雪まつりフォトコンテスト：入選作品「八方咲の舞」武田浩さん(宮城県富谷市)

「雪むすめが決定しました！」



▲渡部香織さん(左)と飯島小百合さん(右)

12月8日、役場で「雪むすめ」の辞令交付式が行われ、菅家町長から渡部香織さんと飯島小百合さんに委嘱状が手渡されました。雪むすめ2名が雪まつりを盛り上げていきます。

●わたなべ 渡部 かおり 香織さん(写真/左)

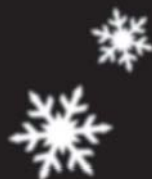
職 場/株式会社ヒロタテクノ

出 身/只見町小川

●いじま 飯島 さゆり 小百合さん(写真/右)

職 場/介護老人保健施設こぶし苑

出 身/群馬県玉村町



～雪まつりTopics～

テーマ

テーマは「戊辰150周年」。記念企画として河井継之助と縁のある長岡市「前田剣豪会」による剣舞と町民による只見の戊辰語りべを開催します。

大雪像

会津の戊辰を象徴する会津若松の「鶴ヶ城」となります。

2月9日(金) 前夜祭

◆mai.&Daiki. オンステージ(19:00～)

町ゆかりの歌手mai.(マイ)さんとタレント・モデルなどでも活躍されるロックシンガーDaiki.(ダイキ)さんによるステージ。最新リリース曲「ありがとう. ryu～光～」は、只見町を想い作詞・作曲されています。2月9日前夜祭と10日の2回公演されます。

2月10日(土) 1日目

◆岡本知高オンステージ(14:30～)

世界的にも大変稀有な「天性の男性ソプラノ歌手」。オペラやポップスなど多くのジャンルで活躍中です。大雪像「鶴ヶ城」にちなみ、「愛しき日々-テレビドラマ白虎隊主題歌」などが披露されます。

2月11日(日) 2日目

◆お笑い芸人!爆笑ライブ「テツandトモ」「二代目Jbs」(14:30～)

「なんでだろう」のフレーズでおなじみの「テツandトモ」と、実力派若手No1ものまねデュオの「二代目Jbs」がお届けするお笑いライブを開催します。

花 火 会

◆祈願花火大会(10～11日両日 19:30～)

皆さまの想いを打ち上げる「祈願花火」と音楽に合わせ感動的な「音楽付きスターマイン」が、真冬の夜空を彩ります。毎年盛大に上げている「町民花火」も打ち上げられる予定で、1,000円以上募金された方には、雪まつりカレンダー(数量限定)がプレゼントされます。



岡本知高



テツandトモ



二代目Jbs



mai.&Daiki.

数々の功績を残された8年間

齋藤教育長「退任式」

11月30日で任期満了を迎えた齋藤修一教育長の退任式が、同日役場本庁で行われました。

齋藤教育長は、平成21年12月1日から2期8年にわたり、町の教育行政を担ってきました。これまで「只見学」の推進や「人材育成ダイヤモンドプラン事業」による町づくりを担う人材の育成、町内全小中学校が登録された「ユネスコスクール」の推進、「只見高校振興対策」や「保育所・小中学校学力向上連携対策」など多くの事業に取り組み、数々の功績を残されました。

退任式では、菅家町長が職員を代



▲退任の挨拶を述べる齋藤教育長

表して「長年のご功績とご努力に対して深く感謝申し上げます、今後も町の発展にご尽力を賜りますようお願いいたします」と送別の言葉を述べました。続けて、齋藤教育長が「自分の理想は、『認め合い、励ましあい、高めあい』ができる職場です。自分の最後の職場となった役場で、理想の職場に出会えました。行政は多くの課題を抱えています。課題があるから前進ができます。これからは様々な課題に対し、3つの『あい(愛)』で町民の皆さまの幸せを求めて頑張ってください。」と退任の挨拶を述べられました。



▲職員に見送られる齋藤教育長

史跡案内標柱の設置などで戊辰150周年を盛り上げる！

第3回奥会津只見戊辰150周年記念事業実行委員会

11月29日、町内の歴史文化団体や観光団体などで組織する「第3回奥会津只見戊辰150周年記念事業実行委員会」が役場で行われ、関係者9名が出席しました。

この実行委員会は、平成30年の戊辰150周年に向けて組織されたもので、只見町における戊辰の象徴的人物「河井継之助」を中心に歴史的意義を再確認し、観光客の誘致や歴史文化の振興につなげる目的で平成29年2月3日に設立されました。これまで実行委員会では、史跡案内標柱の設置や講演会、継之助ウォークなどを実施して

きました。特に、史跡案内標柱は町内全16ヶ所に戊辰所縁の地としての説明などを記し、歴史文化に触れられるよう設置しました(※冬期間は撤去)。また今年度は、史跡案内標柱を巡るガイドブックの作成や福島県南会津地方振興局との共催で行うセミナー、そして第46回只見ふるさと雪まつりでは、「戊辰150周年」をテーマに開催する予定です。

第3回実行委員会では、今年度の実績報告と来年度の活動について確認を行い、今後様々な事業を実施し、戊辰150周年を盛り上げていきます。



▲実行委員会の取り組みを確認する委員の方々



▲町内全16ヶ所に設置された史跡案内標柱

学校と連携した活動を称える

朝日小「父母と教師の会」が受賞

11月1日、県教育委員会が主催する「平成29年度教育・文化関係表彰式」が福島市内で開かれ、朝日小学校の保護者や先生などで組織する父母と教師の会（PTA）が「平成29年度社会教育功績顕著な団体」として表彰されました。今回の受賞は父母と教師の会が行っている、ESD教育に対する学校と連携した全面的な協力体制と、PTA会報紙による広報活動などその長年の取り組みが認められたものです。表彰式では、PTAを代表して会長の目黒夏樹さんが出席され、表彰状と記念品を受け取り、受賞の喜びをかみしめていました。



▲表彰状を手にする目黒夏樹会長(右)と盾を手にする小林校長(左)

主要農産物で交流と食育を推進

只見町と柏市で学校給食食材交換

ふるさと交流都市千葉県柏市と只見町で「学校給食食材交換事業」が行われました。この事業は両市町の主要農産物を交換し、学校給食として提供することで食育の推進や交流の活性化などを図るものです。

11月15日には、町内の小中学校で柏産ブルーベリーの提供を受け、ジャムにしておいしくいただきました。また、柏市では11月21日に柏市立第八小学校の学校給食で、只見産米・食味向上研究会が研究栽培している只見産良食味米が提供され、両市町の食材をとおして食育の推進と交流が深められました。



▲ブルーベリージャムをパンにつけて食べる明和小学校の児童

そばの味を堪能し魅力感じる

「第2回朝日そばまつり」開催

11月26日、朝日地区地域づくり委員会が主催する「第2回朝日そばまつり」が朝日振興センターで開かれ、子どもから大人まで約50名が参加しました。

このそばまつりは、町のそばの魅力を伝え、そば栽培の振興に繋げることを目的に行われており、熊倉蕎麦愛好会の皆さんの協力により開催されたものです。

そばまつりでは、強い風味が特徴の会津のそば粉「会津のかおり」を使用した冷たい盛りそばと温かい田舎そばが提供されました。参加者は、そばの味と香りを堪能していました。



▲そばの味を堪能する参加者の皆さん

只見小と朝日小が入選!

平成29年度県教職員研究論文

12月8日、平成29年度県教職員研究論文で入選となった只見小学校の國分洋克教頭と朝日小学校の小林義弘校長が役場を訪れ、菅家町長に受賞の報告を行いました。

研究テーマは、只見小が「叙述に即して、的確に読み取ることが出来る児童の育成」説明的文章の指導を通して、朝日小は「つながりの中で育む只見愛」児童が主体的につながることを探り、支えて」と題したもので、国語科やESD教育による学習指導の内容でそれぞれ入選しました。

受賞報告では、國分教頭と小林校長から入選の報告を受け、菅家町長がその受賞を称えました。



▲菅家町長(左から2人目)に報告した國分教頭(中)と小林校長(右から2人目)、同席した橋本副町長(右)と増田次長(左)

将来の学校の在り方や児童の教育環境を考える

「只見町立小学校の在り方検討懇談会」報告書を提出

12月20日、町教育委員会において、未来の小学校の在り方を考える「只見町立小学校の在り方検討懇談会」の菅家達朗委員長が、角田行雄教育長職務代理者に報告書を提出しました。

この懇談会は、人口減少や少子化といった問題をかかえる只見町において、小学校の在り方を地域全体で



▲報告書を手渡す菅家委員長(右)と受け取る角田教育長職務代理者(左)

考えるために3地区の小中学校PTAや学校長、保育所保護者会、区長連絡会など14名で構成する組織を教育委員会に設置したものです。

懇談会では、平成29年3～11月まで全4回行われ、児童数が減少している小学校の現状や課題など将来予想される在り方について意見交換を重ねてきました。

今回提出した報告書には、「少人数であるため個に応じたきめ細かい指導が可能であり、学年を越えて人間関係が親密になりやすい」、「少人数のためクラブ活動の選択肢が少なく、集団で行う合唱・合奏などに支障がある」などといった現状のメリット・デメリットのほか、課題に対する「3小学校や地域との交流機会を増やすことでマイナス面の改善が図られる」などといった提案が盛り込まれています。

そして、「3地区にある小学校は、地域の中で重要な役割を担っていることを懇談会で確認した」としたうえで、「『未来のある児童にとって本場に必要ない教育環境とは何か』の議論を継続していく必要がある」とまとめられています。

親子で運動あそびを楽しむ

「第2回運動あそび講座」を開催

12月16日、子どもたちの健やかな発育と発達を支援する町の事業「さんさんキッズプロジェクト」第2回運動あそび講座が只見振興センターで開催され、保育所児童や保護者など約30名が参加しました。

講座では、幼少年体育指導士の篠田裕子さんを講師に迎え、幼児期における運動あそびの重要性と、体を動かすことの楽しさを学びました。

篠田さんの講演の後は、長いロープや新聞紙を使った運動遊びを親子で実践し、運動あそびの楽しさを感じながら親子の絆を深めていきました。



▲運動遊びを楽しむ子どもたち

地域の魅力・価値を再確認

「只見おもしろ学検定会」開催

12月中、只見町の自然・歴史・民俗文化などの価値を学ぶ「只見おもしろ学検定会」が開催されました。検定会場は朝日振興センターのほか、小学生などを対象に町内3小学校でも行われました。

今年度は、検定開始から3年目で初となる「上級」に挑戦した受験者をはじめ、総勢88名が受験し、初級41名、中級17名が合格しました。また、今年度2回目の検定会が3月10日に朝日振興センターで開催される予定で、申込者には「只見おもしろ学ガイドブック改訂版」が贈呈されます。



▲検定を受ける只見小学校児童の皆さん

只見高校は存続できるか？
「緊急教育講演会」を開催



▲平成31～40年度に実施される基本計画の素案を説明する岡崎氏

福島県が「県立高等学校改革基本計画（素案）」を公表したことを受け、12月22日に県教育庁県立高校改革監の岡崎拓哉氏を講師に迎え、「緊急教育講演会」を只見振興センターで開催しました。この素案は、1学年3学級以下の高等学校は統合を推進、1学年1学級本校化など、只見高校の存続に大きく関わる内容でした。

参加者からは、「町は只見高校を地域に残していくということ、地域づくりの一環として振興してきた」、「県土の均等な発展を考えてほしい」など多くの意見が出されました。

施設見学と意見交換を実施
「町区長連絡協議会町内研修会」開催



▲布沢「縁樹の家」で施設の説明を受ける参加者の方々

12月5日、「平成29年度只見町区長連絡協議会町内研修会」が行われ、各地区の区長や町関係者など32名が参加しました。

研修会では、町内にある施設見学と意見交換会が行われました。施設見学では、布沢地区にあるJR東労組東京地本の施設「縁樹の家」と、昨年10月に長浜地区の福祉の里に完成した町内初の障がい者向けグループホーム「こまどり荘」を見学しました。

また、季の郷湯ら里で開かれた意見交換会では、町が各集落に関する事業などについて説明し、各区長と活発な意見交換が行われました。

今季の安全を祈願して
只見スキー場オープン式



▲テープカットでオープンを祝う関係者の方々

12月23日から今季の営業を始める只見スキー場のオープン式が12月22日、同スキー場で行われました。

関係者など約40名が出席したオープン式では、橋本副町長が「只見スキー場は、今年で45周年を迎え、南会津管内では最も歴史のあるスキー場です。家族みんなで楽しめるスキー場運営に努めていきます」と挨拶しました。その後、大谷英明県南会津地方振興局長の祝辞と齋藤邦夫町議会議長の音頭で安全を祈願して乾杯が行われ、関係者のテープカットでスキー場のオープンを祝いました。

ユネスコエコパークの取り組みを確認
「只見ユネスコエコパーク推進協議会」



▲ユネスコエコパークの活動を確認する「只見ユネスコエコパーク推進協議会」

12月8日、「第6回只見ユネスコエコパーク推進協議会」が朝日振興センターで開かれ、関係者約20名が出席しました。

協議会では会長の菅家町長が「引き続きユネスコエコパークを推進していくので、ご協力をお願いしたい」と挨拶しました。その後、国・県・町などの各構成員から「たぐい観察の森整備事業」などを含む16事業が報告されたほか、国内9ヶ所のユネスコエコパーク登録地が一堂に会する「日本ユネスコエコパークネットワーク総会」への参加報告などがあり、ユネスコエコパークの取り組みを確認しました。

少し早めにサンタクロースがやってきた!

「朝日クリスマス会」開催

12月3日、朝日地区地域づくり委員会が主催する「朝日クリスマス会」が朝日振興センターで開かれ、約60名の子どもたちが参加しました。

クリスマス会では、みんなでクリスマスソングを歌い、サンタクロースから子どもたちにお菓子がプレゼントされたほか、ブナリんと一緒に踊るダンスゲームやビンゴ大会など様々な催しが行われ、会場は大いに盛り上がりました。また、このクリスマス会は只見中学生など地域の方々の協力により行われ、子どもたちと地域の方々の交流が深められました。



▲サンタクロースからプレゼントを受け取る子どもたち

親子でクリスマスを楽しむ!

カルガモクラブ「クリスマス会」開催



▲クリスマス会を楽しんだ参加者の皆さん

12月19日、カルガモクラブの「クリスマス会」が只見振興センターで開かれ、16組の親子が参加しました。

民生児童委員の協力のもと開催されたクリスマス会では、クリスマスツリーの飾りつけや「ジングルベル」を歌い、みんなで楽しみました。

その後、サンタクロースが登場し、子どもたち一人ひとりに絵本のプレゼントが手渡され、大喜びの子どもたちでした。

サンタクロースが自宅にやってくる!

「子供たちに夢を贈る会」が夢とプレゼントを届ける

12月24日、只見青年会と仲間たちによる「子供たちに夢を贈る会」が実施されました。この事業は、町内の青年や高校生などがサンタクロースに扮し、只見・朝日地区を対象に、ご家庭から預かったクリスマスプレゼントを子どもたちに届けるというものです。

今年は、依頼のあった8軒のご家庭にプレゼントを届け、子どもたちはサンタクロースからクリスマスプレゼントを受け取り大喜びしていました。「子供たちに夢を贈る会」に参加した町内の高校に通う3年生(山村教育留学生)は、「来年のクリスマスも、この町に戻ってきて参加したい」と話し、今年も子どもたちに夢とプレゼントを届けました。



▲子どもたちにクリスマスプレゼントを届けたサンタクロース

只見町教育委員会教育委員の辞令交付式 只見地区の新國真也さんが就任

12月1日、只見町教育委員会教育委員の辞令交付式が役場で行われ、只見地区の新國真也さんが就任されました。

教育委員は町の教育振興のため、教育政策の提案や町民の教育への意見、ニーズを教育行政へ反映させる役割を担っています。

辞令交付式では、菅家町長から新國さんへ辞令書が手渡されました。新國さんの任期は、12月1日から3年間となります。



▲辞令書を手にする新國さん(左)と菅家町長(右)

基礎から学び、実践へ！ 「パソコン教室」を開催！

11月20日～12月1日までの全6回にわたり、明和振興センターで「パソコン教室」が開催され、7名の方が受講しました。

パソコン教室では、講師に布沢区の鈴木久美さんを迎え、パソコンの基礎について学びました。受講生は基礎知識を学び、最終的にはエクセルで名簿が作成できるレベルに上達しました。受講生はパソコン教室で学んだ知識を、家庭や職場で実践していきます。



▲基礎から実践レベルまで学んだパソコン教室

年越しそばを自分で打つ！ 「そば打ち講座」を開催

12月10日、年越しそばづくりを学ぶ「そば打ち講座」が只見振興センターで開かれ、子どもから大人まで約20名が参加しました。

講座では、只見町そば部会のそば打ち名人3名の方を講師に迎え、そば打ちを学びました。水まわしや練り、丸だしといった手順を踏まえながらオリジナルの手打ちそばを作りあげ、最後に完成したそばを試食し、参加者は自分で打ったそばの味を堪能していました。



▲のし棒を使ってそば生地を伸ばす参加者の皆さん

お正月を迎える準備！ 「しめ飾り講座」を開催

12月10日、お正月を迎えるための「しめ飾り講座」が只見振興センターで開かれ、約20名が参加しました。

講師に叶津地区の三瓶彰治さんを迎え、イワシバを材料に講座が行われました。はじめに三瓶さんが説明しながらしめ飾りの手本を披露し、そのあと各自で作成しました。

完成したしめ飾りは、どれも花や紙垂かみしてなど縁起物が華やかに飾られ、参加者は完成を喜びました。



▲完成したしめ飾りを手にする参加者の皆さん

12月から新しい看護師さんが着任しました!

12月1日から4ヶ月間、朝日診療所で勤務していただく会津中央病院看護師の栗城あすかさんです。栗城さんは、祖父や父が入院した際に、親身に対応していた看護師さんを見て、自分も目指したいと思い、看護師になったそうです。看護師となった今では、患者さんとのコミュニケーションを大切に、日々の業務に取り組んでいます。小さいときに訪れた只見の雪まつりに思い出があり、今から今年の雪まつりを楽しみにされています。「一生懸命頑張ります!」と話す栗城さんをどうぞよろしくお願いいたします。



栗城 あすかさん
(出身/会津若松市)

広報ただみ診療所

朝日診療所

医師 森 冬人



「もし『朝日診療所』が あなたの主治医なら…」

明けましておめでとうございます。私も只見に住み3年近くになりました。実は昨年、家庭医療専門医という資格に合格しました。これは、子供からお年寄りまで、体の病気・けが・心の病気・介護や認知症の相談など、幅広くなんでも相談し対応できる医師を認定する資格です。今後も幅広い健康問題について、町民のために頑張りたいと思います。

ある患者さんのお話です。ある日、高齢の男性が息子さんと一緒に診療所へ相談に来ました。その患者さんは会津若松市内の総合病院に3ヶ月毎に受診しており、最近は歩くのがとても大変になり、車に乗るのもやっとというのです。患者さんや息子さんと相談して、それからは私が定期的に診察しました。前の病院から手紙をもらって薬を変更し、デイサービスの職員など町内で患者さんに関わる人から情報をもらい、まめに様子を見ました。患

者さんは前よりも歩けるようになりましたが、それでも歩くのは大変なため、自宅に毎月訪問をして診察させてもらいました。歩けなくなった、物忘れが進んだ状態から「朝日診療所」が主治医になっても構いませんが、いつでも私たちは対応します。診療所は、遠くの病院よりも地域の色々な人と協力することが得意です。こぶし苑でのリハビリの様子、デイサービスでの様子、一緒に受診しているご家族の具合や心配事も把握します。患者さんが困ったとき、只見の誰がどんなお手伝いをできるか、誰に相談すると良いかを知っています。診療所でできない検査や治療は他の病院にお願いすることもあります。その際も普通の調子や過去の病気のこと、患者さんと家族の希望・心配事をできるだけ代弁して紹介するよう心掛けています。診療所内外の関係者と協力して、皆さんに安心を与えられる「朝日診療所」になるように職員一同、努力したいと思います。本年も町民の「主治医」としてよろしくお願いいたします。

地域おこし協力隊として 只見町教育振興協力隊

vol.38

渡辺 啓太



「あなたは只見の事を知っていますか？」

只見に移住して1年が経ち、最初は分からなかった方言や町の事情が分かるようになってきました。1年経っても変わらぬ思いは、「やっぱり只見の自然は美しい」ということです。夏の雲ひとつない青空と川面に映る木々の緑や葉が落ち枯れ木となった山の寂寥感などハッと息をのむほど美しいと感じました。

さて、最近私は「只見おもしろ学検定」を受けさせてもらいました。只見おもしろ学検定とは、只見の自然・歴史・文化の3分野から問題が出題され制限時間

内に解き、合格基準を満たせば合格をもらえるという検定です。検定に際して只見町史などで勉強しましたが、只見は知れば知るほど面白い!!昔からある只見の伝統や文化遺産、そして自然の特色など「え!?そうだったの!?!」と思うことが多々ありました。そして、この知らないことが分かるようになる高揚感こそが知への好奇心だと実感しました。ぜひ只見で生まれ育った大人の方たちにも自分が生まれた場所について知ってもらい、「只見っておもしろい!」と再発見してもらえたらと思います。

ただみ水田雑草考 ③

只見町の水田雑草相の特徴

水田雑草の種類は、県内どこへ行っても大きな違いはありません。それは田起し、除草、施肥、水管理といった人為に適切できる植物の種類が限られているからなのです。とはいえ、会津地方と浜通り地方とは自然条件はもとより営農の方法も異なりますから、ある程度の違いは認められます。

タイワンヤマイは、福島県全体としてはややまれな植物で

す。ところが、只見町の耕作田では出現頻度およそ五〇%、つまり調査した田んぼ二筆に一筆の割合であられるのです。しかも特定の地区にかたよらず、少しずつ町内一円に分布しています。この仲間は、ほかにホタルイ、イヌホタルイ、コホタルイも確認されましたが、かつて東北農業試験場にいた住吉正さんは、只見町はとくにタイワンヤマイが多い地域であることを

二〇年以上前に指摘しています。二〇一〇〜二〇一四年の筆者の調査でも、これら四種の中ではタイワンヤマイがもっとも優勢であることが再確認されました。除草剤に対する感受性はイヌホタルイとあまり変わりがないのに、どういう理由からなのでしょう。住吉さんによれば、東北地方では秋田県中央部の雄物川流域でもこのような傾向があるそうです。なるほど、大きな川の流域かつ豪雪地帯であるという点では只見町と共通しています。はつきりしたこと

はまだわかりませんが、このような自然条件が、たとえば秋の不耕起（転）といった従来の耕種的条件と複合して、本種の越冬や発芽などに有利に働いてきたのかもしれない。

ミズマツバは、暖地系の小形



▲ウリカワ(2012年9月、小川)



▲ミズマツバ(2012年9月、蒲生)

の植物で、これまで会津地方には記録がありませんでしたが、二〇一二年に蒲生地区の二か所の田んぼで初めて見つかりました。福島県では減少が著しく、絶滅危惧Ⅰ類と評価されている種類です。同じ暖地系のウリカワも、福島県では、いわき市以外では珍しい植物です。しかし、「会津只見の自然（只見町史資料集第四集）（二〇〇一年）」には樺戸地区が記録されており、二〇一二年および二〇一四年には小川地区や坂田地区の田んぼでも見つかりました。坂田地区は福島県でもっとも高所に位置する生育地と思われまます。さらに、首都大学東京牧野標本館に

は、一〇〇年以上前に只見町で採られた標本が収蔵されているのです。このように、冬期寒冷な気候にもかかわらず、暖地系の意外な植物が生育しているということも只見町の水田雑草相の特徴といえるでしょう。



▲タイワンヤマイ(2012年9月、叶津)



町民文芸

只見短歌会

十一月詠草

大塚栄一

指導

吹く風に軽き音させ静けさをいや増す山の落ち葉の溜り

小倉キミ子

燃ゆるごと鶏頭深く色づきし無人の駅を久びさに通る

馬場 八智

畑に出る事が生き甲斐仕合せと卒寿の友と畔に憩ひぬ

渡部ゆき子

降雪を待ちて甘味を付かせむと白菜採らぬはわが畑のみ

目黒 富子

冬の朝雲の切れ間に光差し煌めく山は名画のごとし

飯島小百合

ふと開けし祖母の形見の手箱より我が誕生の命名書出づ

関谷登美子

「火の用心」書き終へし孫小さき腕に墨あと僅かに残して遊ぶ

新国由紀子

早朝の大病院には眠りある受付待ちの人多くして

渡部ヨリ子

ながく病むわが足洗ひくるる娘の白髪増へしに言葉もあらず

新国 洋子

(出詠順)

只見俳句会

十二月例会

目黒十一

指導

大鍋の冬至南瓜を振舞いり
苛など知らずに生きて雪を掘る

一穂

雨粒の光る葉つ葉や今朝の冬
びったしと池の水際ひし紅葉

都

大寒波五時の鐘音曲げており
ロシアより来る寒波にただ一人

修一

振り袖の振り返る笑み七五三
いつの間に厚着している丸い肩

味代子

年つまる妻の朝夕暖を見ず
遠目にも水場の楢に熊の棚

吉児

願ぎごとを二つに決めて初詣
霜枯れや八十路で舞うや恋のうた

弘子

大きな家を守る女人あり雪沈沈
餅搗きや月の兎は知らぬ園児達

幸生

舞い降りし鶴の一期や地に抱かれ
茶の花やわれを叛きし人許す

恒夫

クリスマスユーミン聞いて急ぎ足
吹雪の夜ばんばの話囲炉裏

信

鈍色の塔に残照雪の山
誕生の「ねっか」に乾杯年忘

礼

今月のお知らせ

電話番号

総務課		
総務係	財政係	☎82-5210
総合政策課		
地域振興係	広報広聴係	☎82-5220
町民生活課		
税務係		☎82-5110
町民係		☎82-5100
保健福祉課		
保健係		☎84-7005
福祉係		☎84-7010
農林振興課		
農政係	林政係	☎82-5230
観光商工課		
観光係	商工係	☎82-5240
環境整備課		
地域整備係		☎82-5270
生活環境係		☎82-5280
会計室		☎82-5120
議会事務局		☎82-5300
農業委員会		☎82-5230
教育委員会		☎82-5320
学校給食センター		☎84-7180
只見保育所		☎82-2219
朝日保育所		☎84-2038
明和保育所		☎86-2249
朝日診療所		☎84-2221
(歯科)		☎84-2612
こぶし苑		☎84-2101
只見振興センター		☎82-2141
朝日振興センター		☎84-2111
明和振興センター		☎86-2111

募集

平成30年度
只見町奨学生募集のお知らせ

町では、優秀な人材を育成するために無利子で奨学資金を貸与します。

●対象及び条件

平成30年度に高等学校・短期大学・大学又は専門学校などに進学を希望される方で、品行が正しく、学術に優れ、身体強健であること。

●奨学資金付与の条件

只見町出身の方で、貸与を希望される方の本籍又は住所が只見町に引き続き6ヶ月以上有すること。

経済的理由により修学が困難と認められること。

●利用可能額(貸与額)

高等学校／月額1万2千円以内
私立大学／月額4万円以内

電話番号

総務課		
総務係	財政係	☎82-5210
総合政策課		
地域振興係	広報広聴係	☎82-5220
町民生活課		
税務係		☎82-5110
町民係		☎82-5100
保健福祉課		
保健係		☎84-7005
福祉係		☎84-7010
農林振興課		
農政係	林政係	☎82-5230
観光商工課		
観光係	商工係	☎82-5240
環境整備課		
地域整備係		☎82-5270
生活環境係		☎82-5280
会計室		☎82-5120
議会事務局		☎82-5300
農業委員会		☎82-5230
教育委員会		☎82-5320
学校給食センター		☎84-7180
只見保育所		☎82-2219
朝日保育所		☎84-2038
明和保育所		☎86-2249
朝日診療所		☎84-2221
(歯科)		☎84-2612
こぶし苑		☎84-2101
只見振興センター		☎82-2141
朝日振興センター		☎84-2111
明和振興センター		☎86-2111

審査決定後、本人に通知します。通知は3月中旬頃の予定です。

●問合せ先

只見町教育委員会
☎0241(82)5320

●保健師などをを目指す奨学生を募集します

町では、次の職種を目指す方で将来町の施設で業務に従事しようとする方に対し奨学資金を貸与します。

●対象となる職種

保健師、助産師、看護師、放射線技師、理学療法士、作業療法士

●対象となる条件

法に基づき指定された前項の職種の養成施設に在学または在所し、国または他の団体から同種類の奨学金の貸与を受けていない方。

●貸与額

月額10万円以内

●奨学金の返還及び免除規定

税 今月の納期

1月25日までに納めましょう

- 町県民税(4期)
- 固定資産税(4期)
- 農集排使用料(1月分)
- 後期高齢者保険料(6期)

●問合せ先

保健福祉課 保健係
☎0241(84)7005

福島県南会津地方振興局より
戊辰セミナーの参加者募集

次のとおり「知られざる南会津戊辰セミナー」を開催しますので、参加希望の方はご連絡ください。(申込期間を1月19日(金)まで延長します。また当日参加も可能です。)

●日時

1月20日(土)
午後1時～午後3時

●会場

只見振興センター

●内容

(入場無料) 定員150名

●申込・問合せ先

講演及びパネルディスカッション
福島県南会津地方振興局
企画商工部

☎0241(62)5207

田島税務署より 「平成29年分所得税等確定申告等」 のお知らせ



●申告書作成会場の開設

- ・場 所 田島税務署1階会議室
- ・期 間 2月16日(金)～3月15日(木) ※土・日・祝日は除く
- ・時 間 午前9時～午後5時

※期間前は会場を設置しておりませんので、期間中に利用ください。

※申告書の作成に1時間以上要する場合がありますので、午後4時前までのご来場にご協力ください。

●申告書の作成は国税庁ホームページが便利です!

申告書作成会場は混雑し長時間お待ちいただく場合があります。国税庁ホームページ(<http://www.nta.go.jp>)の「確定申告書等作成コーナー」をご利用いただければ、申告書をご自宅で作成し、郵送などで提出することができます。

●マイナンバーの記載と本人確認

申告者ご本人や控除対象配偶者、扶養親族および事業専従者などのマイナンバーの記載が必要です。また、申告者ご本人の本人確認書類の提示または写しの添付が必要です。控除対象配偶者、扶養親族および事業専従者などの本人確認書類などの提示は不要です。(マイナンバーカードを利用して、ご自宅などのパソコンからe-Taxで送信する場合は、本人確認書類を別途送付する必要はありません。)

●税金の納付は振替納税が便利です!

平成29年分の納付期限は、申告所得税および復興特別所得税、贈与税が、**3月15日(木)**、消費税及び地方消費税(個人事業者)が、**4月2日(月)**です。振替納税をご利用の方は、申告所得税および復興特別所得税の振替日が、**4月20日(金)**、消費税および地方消費税(個人事業者)の振替日が、**4月25日(水)**となっております。

(注)贈与税については、振替納税はできません。

●問合せ先 田島税務署(Tel.0241-62-1230)※自動音声案内

町長スケジュール (12月分)

- 1日 教育委員辞令交付式、雪まつり実行委員会、議案検討庁議
- 2日 南会津地方広域市町村圏組合議会全員協議会(南会津町)
- 5日 南会津方部水災害対策協議会(南会津町)、区長連絡協議会
- 6日 滝調整池堆砂対策協議会、一般質問検討庁議
- 7日 ユネスコエコパーク推進連絡調整会議、行政機構改革審議会諮問
- 8日 雪むすめ辞令交付式、ユネスコエコパーク推進協議会
- 9日 福島県市町村対抗軟式野球大会
只見町選手団慰労会

- 10日 ふるさと只見会(東京)
- 11日 只見町議会12月会議(~15日)
- 12日 ティーエヌアイ工業(株)社長来庁
- 18日 阿賀川河川事務所長来庁
- 19日 南会津建設事務所長来庁
- 20日 只見町議会全員協議会、臨時庁議
- 21日 土地改良区理事会
- 22日 (福)南会津会理事会(南会津町)、緊急教育講演会
- 25日 南会津管内県出先機関年末挨拶、民生児童委員協議会
- 27日 只見線復興推進会議検討会(福島市)、只見地区農家との意見交換会
- 28日 仕事納めの式(あさひヶ丘、役場)

町民の消息

(11月26日～12月25日届出分)敬称略

■お誕生おめでとうございます

佐久間 葵生 (男/貴之・綾乃) 只見
 鈴木 悠冬 (男/靖和・佐知) 只見
 馬場 慧 (男/匠・成美) 大倉

■おくやみ申し上げます

鈴木 良三郎	96歳	只見
吉田 善一郎	85歳	長浜
酒井 サト	82歳	福井
永井 モトミ	95歳	大倉
馬場 英弥	89歳	塩ノ岐
渡部 チトセ	95歳	小川
馬場 條二	82歳	塩ノ岐
角田 清	63歳	小林

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

平成29年12月1日現在

人口 4, 315 (-10)
 男 2, 117 (-7)
 女 2, 198 (-3)
 世帯数 1, 859 (-7)
 高齢化率 44.95%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 8 転出 2 出生 1 死亡 17

あとがき

▽明けておめでとうございませう。本年も「広報ただみ」をよろしくお願ひいたします。

▽昨年の世相を一字で表す「今年の漢字」は「北」ということで、北朝鮮のミサイル発射や九州北部豪雨などの意味から選ばれました。

▽昨年の只見町は、「JR只見線不通区間の復旧決定」や「国道289号八十里越の開通目標2023年度」といった明るい話題が多くありました。その追い風をしっかりと活かすという意味を込めて、今年の只見町の漢字は「活」ということで、本年も皆さまが「活躍」されますようお祈り申し上げます。

(三瓶)

生涯学習推進員
三瓶昌恵

明和振興センター
図書室 ☎86-2111

おすすめ新着図書

★漫画 君たちはどう生きるか



吉野源三郎/著
(マガジンハウス)

勇気、いじめ、貧困、格差、教養…昔も今も変わらない人生のテーマに真摯に向き合う主人公のコペル君と叔父さん。二人の姿勢には、生き方の指針となる言葉が数多く示されています。そんな時代を超えた名著が、原作の良さをそのままに、マンガの形で、今に蘇りました。初めて読む

人はもちろん、何度か読んだことのある人も、一度手にとって、人生を見つめ直すきっかけにしてほしい一冊です。

★ぜったいにおしちゃダメ?



ビル・コッター/著
(サンクチュアリ出版)

この絵本にはたった1つだけルールがあります。それは「このボタンを押しちゃダメ」ということ。でも、不思議なモンスターが「おしたらどうなるんだろう?」「おしちゃうか?」

としつこく誘惑してくる。誘惑に負けてボタンを押すと、モンスターが黄色くなったり、水玉になったり、何匹にも増えたりと大さわぎ! さあ、絵本をふったり、おなかをこすったりして、モンスターをもとの姿にもどしてあげよう!

★その他、別棟、図書室(旧支所)にもたくさん本を置いております。利用時間は午前9時から午後4時までです。(土日祝日は閉館)ぜひご利用下さい。リクエストも随時受付しています。

1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう

1、互いに助け合い親切をつくり楽しい町をつくりましょう

1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう

1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう

1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

町民憲章

ニホンリス (学名: *Sciurus lis*)

[リス科 リス属]



▲夏毛のニホンリス



▲冬毛のニホンリス(自動撮影カメラで撮影)



▲ニホンリスが食べたクルミの殻と松かさ

ニホンリスは、本州から四国、九州の平地から亜高山帯の森林に生息する日本固有種です。しかし、西日本の中国地方および九州地方では生息数が減少しており、絶滅が危惧されています。体長16~22cm、尾長13~17cmであり、体と同じぐらい長い尾を持っています。食料は植物の若葉や果実、種子、キノコなどそのほとんどは植物質ですが、昆虫や鳥の卵なども食べることがあります。また、リスの仲間は貯食行動をとることが知られており、秋の間に土の中や木の枝の間などにドングリやクルミを隠し、食べ物の乏しい冬の重要な食料とします。土の中に埋められた種子の一部は忘れられ、翌春に発芽するものもあります。夏と冬で毛が生え替わり、冬は耳の先に長い毛が生えてふっくらとして背中毛の色は灰褐色です。夏はお腹の縁や手足が黄色みがかかり、耳に生える長い毛は無くなり、背中毛の色は赤褐色に変わります。

町内全域に生息していると考えられ、山の中でリスの食べたクルミの殻や松かさを見つけることができます。ニホンリスは冬眠をしないので、家の近くの雑木林で食べ物を探して走り回っている姿を見ることができるかもしれません。

詳しくは、
只見町ブナセンター
までお問い合わせ
ください

企画展示

「守りたい！只見の野生動植物

—只見町の野生動植物を保護する条例」

期 間:6月25日(月)まで

場 所:ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー